

2025-06-13

App Bridge Ver. 1.19.5 のアップデート内容を以下に示します。

利用者環境に導入いただいているモジュール（Agent など）は、バージョンアップ後もそのままご利用いただけます。リリース機能をご利用いただくには、モジュールの入れ替えが必要となる場合があります。詳しくは「別紙1 変更区分」をご参照下さい。

1. App Bridge Monitor

1.1 Windows Agent 【M-W1】

#	対象	内容
1	イベントログ監視の例外発生時処理追加	イベントログ監視にて例外が発生した場合、エラー通報を実施するよう修正しました。 また、例外発生時には UCS Watch Service を自動的に再起動できるよう、Service Control に Restart Option 機能を追加しました。
2	イベントログの存在チェック追加	UCS Watch Service 起動してイベントログ監視が開始される際に、イベントログの存在チェックを行い、存在しないイベントログがあった場合にはエラー通報するよう修正しました。

以上

別紙1 変更区分

お客様がリリース機能を利用するためには、変更区分で示される作業が必要となります。

区分	バージョンアップ機能を利用するために必要な作業	備考
C-1	なし	センタ変更のみで利用可
M-W1	App Bridge Monitor Windows Agent のアップデートが必要	
M-W2	App Bridge Monitor API コマンドのアップデートが必要	
M-W3	App Bridge Monitor 連携サービスのアップデートが必要	
M-L1	App Bridge Monitor Linux Agent のアップデートが必要	
K-W1	App Bridge Kicker Windows Agent のアップデートが必要	
K-W2	App Bridge Kicker API コマンドのアップデートが必要	
K-W3	App Bridge Kicker Developer Tools のアップデートが必要	
K-L1	App Bridge Kicker Linux Agent のアップデートが必要	
T-W1	App Bridge Transporter Upload Agent のアップデートが必要	
T-W2	App Bridge Transporter Download Agent のアップデートが必要	